

事業実施のプロセスを学ぶ「次世代の企業人育成事業」 報告

- 内 容 尼崎市内に事業所を置く企業が市内高校生に対し、実際に抱える課題（新商品・サービス・製品開発並びにそのマーケティング、顧客開拓方法、プロモーション、採用戦略など）や目標をご説明いただき、高校生が課題解決や目標達成のために実践可能な施策を各自・グループで自主的・協力的に考え、提案を行う。

■実施結果

①尼崎市立尼崎双星高校

対 象 者：商業学科 3 年生 14 名

実 施 期 間：下記をテーマに計 5 回実施

4 月 23 日（月）第 1 回課題発表、6 月 17 日（月）第 2 回改善策討論

10 月 16 日（水）第 3 回改善策討論、10 月 28 日（月）第 4 回改善策討論

11 月 27 日（水）最終発表

協 力 企 業：（一社）みんなのあま咲放送局

課題テーマ：ラジオをより多くの方、特に若年層へ聞いてもらうためにはどのような施策を行えばよいか

取 組 内 容：現在の課題を踏まえ、学校内の生徒を対象に「ラジオの印象」や「普段ラジオを視聴しているか」についてアンケートを実施。その結果、ラジオを視聴している生徒が少ないことが明らかになった。

そこで、若年層がラジオを視聴するきっかけを作るために、学生自身がラジオ番組に出演することを提案し、実際に出演した。出演日の視聴回数は普段よりも多かったことが報告された。



②兵庫県立武庫荘総合高校

対 象 者：普通科 2 年生「総合的な探求」にて起業ゼミ選択した生徒 10 名×2 クラス

実 施 期 間：下記をテーマに計 4 回実施

10 月 16 日（水）事務局による検討手法指導、10 月 30 日（水）第 1 回課題発表

11 月 13 日（水）第 1 回改善策討論 、11 月 27 日（水）最終発表

協力企業① (株)サンクスポート

課題テーマ：清掃業の人材不足への対策について。どのように採用を行っていけば人手不足が解消できるか？

取 組 内 容：清掃業界は高齢化や悪いイメージを持たれる（3K など）ことから、人手不足が深刻化している。清掃業の悪いイメージを払拭し、採用力強化や人材定着をしていくための施策を高校生の目線から検討。

同社の社内会議の様子（音楽を流してリラックスした雰囲気）や社内コミュニケーションなど些細で



はあるが求職者が気になる「職場の雰囲気」をショート動画にしてSNSにアップする、福利厚生面など面接では直接聞きにくい部分を求職者にPRする、普段の清掃の様子を動画にするなどSNSを利用した採用について高校生から提案を受けた。

今回いただいた提案について、動画を同社のInstagramへ実際にアップしていただく予定。

協力企業② (株)あふリズム

課題テーマ：看護業界の人材不足を解消するためにはどのような施策を行えばよいのか？

取組内容：退職やそもそもの担い手不足から、人手不足が加速している看護業界の中でも、訪問看護という、より特殊な同社への対応施策を高校生目線で検討。

まずは、馴染みが薄く、資格商売である訪問看護事業について、中川氏から説明があり、その中で実現可能性の比較的高い取り組みについて深掘りを行った結果、①専門職者への業務サポート役として、無資格者への求人実施、②看護学生向け実習の実施や求人の給与面の明確表記等の訪問看護という選択肢の広報強化、③保育園との連携やコミュニケーション強化といった働き方改革の推進、といった方策が示された。

第1回改善策討論時は実現に費用が大きくかかる託児所設置等が挙げられていたが、最終発表では、コスト面まで考慮した提案がなされ、中川社長からも導入を検討する予定との声が上がった。



以上